

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 5 月 29 日現在

機関番号：34416
 研究種目：基盤研究(C)
 研究期間：2010～2012
 課題番号：22520213
 研究課題名（和文）
 実録の総合的研究データベース『実録所在目録・目次』の構築・公開—
 研究課題名（英文）
 A synthetic study of “jituroku” — construction and publication of database
 『jiturokusyozaimokuroku・mokuji』—
 研究代表者
 山本 卓（ YAMAMOTO TAKASHI ）
 関西大学・文学部・教授
 研究者番号：60230562

研究成果の概要（和文）：

鳥取県立博物館(中島家文書)・国立公文書館・国文学研究資料館・関西大学図書館などに所蔵される実録を詳しく調査して、その書誌事項・目録(目次)をとり、その成果を「データベース『実録所在目録・目次』(DVD版)に纏めて、公開した。

また、『近世実録翻刻集』と題して、『厭蝕太平楽記』・『田宮物語』・『白川根笹雪』・『享保太平記』・『播磨相原』新出本の実録を翻刻して刊行した。この作業は『新編 近世実録全書』公刊の地ならしに相当する。

研究成果の概要（英文）：

Jituroku books owned by a tottori public museum(nakajimakebunnsyo)・a national official document museum・a study of a national literature museum・a kansai university library. We investigate these jituroku books.a bibliography and contents.These results is a publication of database 『jiturokusyozaimokuroku・mokuji』.

And a publication of 『kinseijiturokuhonkokusyu』 is 『ensyokutaiheirakuki』 『tamiyamonogatari』 『sirakawanezasanoyuki』 『kyouhoutaiheiki』 『harimasugihara』 jituroku opened.This work is a preparation for a publication of 『sinnpen kinnseijiturokuzennsyo』

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2010 年度	900,000	270,000	1,170,000
2011 年度	700,000	210,000	910,000
2012 年度	1,500,000	450,000	1,950,000
年度			
年度			
総計	3,100,000	930,000	4,030,000

研究分野：国文学

科研費の分科・細目：文学・日本文学

キーワード：実録・実録体小説・近世小説・近世史・国文学

1. 研究開始当初の背景

実録とは実録体小説とも称される、近世小

説のジャンルのひとつである。実録は近世に実際に起こった事件に取材し脚色を加えた

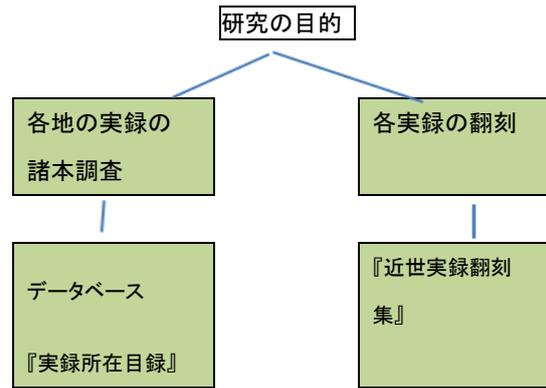
際物（きわもの）的な内容であるため、時の為政者はこれを有害視して出版を禁じた。そのため、実録は、出版の時代と称される近世にあっても、原則として写本でしか流布しなかった。にもかかわらず、実録は秘められた事件の真相を暴いたものとして人々の人気を呼び、需要も高かった。現存する本の数では、浮世草子や読本などの近世小説を代表するジャンルの残存数を凌駕している。ところが、実録研究は非常に立ち遅れており、どのような実録がどこの機関に所蔵されているかさえ知られていない状況であった。また、専書としては研究分担者高橋圭一の『実録研究一筋を通す文学一』（清文堂出版・平成14年）しかないという状況であった。

2. 研究の目的

実録は出版を禁じられたため、写本でアンダーグラウンドながら実は広く流布した。相当に広く流布していたため、現在においても伝本が多い。しかも、版本ではなく、写本での流布ゆえに諸本毎に本文がそれぞれ異なるのである。諸本に系統があるのである。これが難しいところである。実録研究は非常に遅れているため、どのような実録（のどの系統）がどこの機関に所蔵されているかさえ知られていない現状である。

まず各地に所蔵されている実録諸本の本格的調査・研究をすることであるが、その際、実録の諸本の系統は目録（目次）を見ることによって大方類推しうる。そこで、各地の所蔵機関の実録を調査・研究し、データベース『実録所在目録・目次』を構築・公表することは重要である。本研究の目的の第一である。

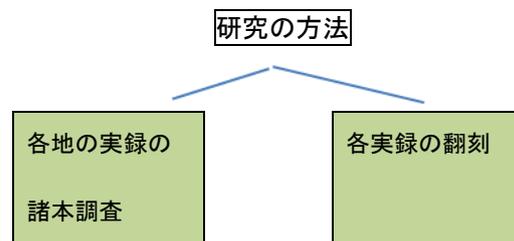
また、実録は読みにくく系統がさまざまである。全面的に調査の上、これを系統立てて翻刻しなければならない。『新編 近世実録全書』（仮称）の刊行が望まれるところである。まずは『近世実録翻刻集』として、実録を翻刻・公開することにより、『新編 近世実録全書』（仮称）公刊の地ならしとすることを研究目的の第二としたい。



3. 研究の方法

各地の機関に所蔵される実録であるが、本研究ではまず、実録がかたまって所蔵されていることが近年分かった鳥取県立博物館（中島家文書）を中心に悉皆調査し、国立公文書館・国文学研究資料館・関西大学図書館などの所蔵する実録の調査研究（書名・書名よみ・別書名別書名よみ所蔵者・所蔵者整理番号・巻数・冊数・巻冊数付記・表紙・題簽・縦・横・全丁数・一面行数・一行字数・用字・蔵書印・序・跋、総目次・奥書・識語・特記事項の各項を調査・記録した）をし、目録（目次）を翻字・記録することが具体的方法である。これは、データベース『実録所在目録・目次』を構築・公表することが目標である。

また、『近世実録翻刻集』を企画して、その収録書を検討し、方針を議論して、各人翻刻作業を進めた。これは『新編 近世実録全書』（仮称）の地ならしにあたる。



4. 研究成果

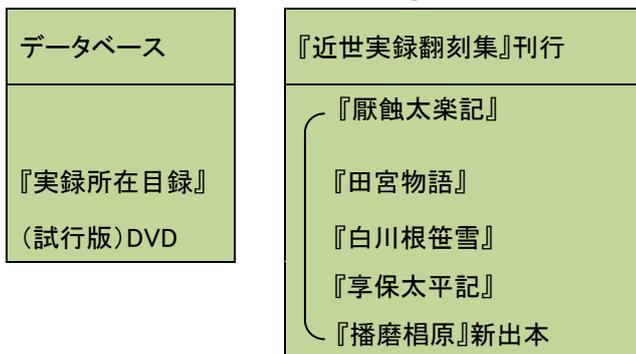
鳥取県立博物館（中島家文書）・国立公文書館・国文学研究資料館・関西大学図書館などの所蔵する実録の書名・書名よみ・別書名別書名よみ所蔵者・所蔵者整理番号・巻数・

冊数・巻冊数付記・表紙・題簽・縦・横・全丁数・一面行数・一行字数・用字・蔵書印・序・跋・総目次・奥書・識語・特記事項の各項を調査・記録し、目録（目次）を調査・集積して、「データベース『実録所在目録・目次』（試行版）をDVDとして纏め、公開した（関西大学文学部山本卓研究室・平成 25 年 5 月 10 日発行）。

また、『近世実録翻刻集』として、『厭蝕太平楽記』（藤沢毅翻刻）・『田宮物語』（菊池庸介翻刻）・『白川根笹雪』（岡田哲翻刻）・『享保太平記』（高橋圭一翻刻）『播磨相原』新出本（山本卓翻刻）の実録を翻刻して刊行した（大阪大谷大学高橋圭一研究室・平成 25 年 2 月 22 日発行）。

その他の業績として、山本卓著『舌耕・書本・出版と近世小説』（清文堂出版・平成 22 年 10 月 30 日刊行）がある。第一部「舌耕者都の錦」として、「舌耕者都の錦ーメディアとしての舌耕・書本」・「都の錦自筆片仮名本『内侍所』考と論」・「都の錦と神道講釈」、第二部「浮世草子と巷談実録および浄瑠璃」として『元禄曾我物語』攷ー浄瑠璃利用と実録への展開を中心に」・「長崎喧嘩一件ー巷説・実録と浮世草子」、第四部「後期上方読本とその出版」として「義士伝実録と『絵本忠臣蔵』」・『絵本敵討孝女伝ー実録種の読本化と出版書肆』などの章を設け、浮世草子作者と目されている都の錦の舌耕性（実録性）と浮世草子と実録の関係、および絵本読本と実録の関係や実録の諸相をうかがったものである。

研究成果



5. 主な発表論文等
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 8 件)

①山本卓「『武家不断枕』と『播磨相原』一都の錦の赤穂義士伝実録小考」・『国文学』97号・2013・査読なし・P53～63

②高橋圭一「真田幸村の軍扇」・『アジア遊学』161号・2013・査読なし・P230～234

③高橋圭一「翻刻・京都大学附属図書館蔵(大惣本)『兵家茶話』中」・『大阪大谷大学紀要』47号・2013・査読なし・P39～101

④高橋圭一「司馬文学についてー『城塞』からー」・『遼』43号・2012・査読なし・P6～7

⑤山本卓「都の錦と『播磨相原』」・『大阪春秋』145号・2012・査読なし・P16～23

⑥高橋圭一「講談 発展途上の芸能ー「歴女」を後ろ楯に」・『上方芸能』183号・2012・査読なし・P40～42

⑦高橋圭一「翻刻・講談丸本『享保太平記四・五(終)』」・『大阪大谷大学紀要』46号・2012・査読なし・P16～68

⑧高橋圭一「翻刻・講談丸本『享保太平記』三」・『大阪大谷大学紀要』45号・2011・査読なし・P24～52

[図書] (計 2 件)

①高橋圭一・山本卓『近世実録翻刻集』大阪大谷大学文学部高橋圭一研究室・2013・共編全 P352

②山本卓『舌耕・書本・出版と近世小説』清文堂出版・2010・全 P378

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況 (計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]

ホームページ等
データベース『実録所在目録・目次』（試行
版）DVD・関西大学文学部山本卓研究室・
2013

6. 研究組織

(1) 研究代表者

山本 卓 (YAMAMOTO TAKASHI)
関西大学・文学部・教授
研究者番号：60230562

(2) 研究分担者

高橋 圭一 (TAKAHASHI KEIICHI)
大阪大谷大学・文学部・教授
研究者番号：90188003